

# 2019/2020年 長野県スキー連盟におけるジュニアテスト

受検資格  
検定方法  
検定員

12歳(小学生)以下  
実践講習テスト  
公認C級検定員以上 1名

	テスト種目	斜面設定 (講習斜面)	評価の観点	合否判定
1	基礎的なパラレルターン 大回り	中急斜面・ナチュラル	公認検定員が講習にあたり、一般のゲレンデにおいて周りの状況を十分に認識しながら、安全で自由に斜面を移動する技術の習得を目指し、その到達度を評価する。 級別テスト2級を安全に受検できるレベルを基準とする。	1種目最大値100ポイント×3種目。210ポイント以上を合格とする。
	基礎的なパラレルターン 小回り	中急斜面・ナチュラル		
	フリー滑走	中急斜面・ナチュラル		
2	大回りターンが連続してできる	中斜面・ナチュラル	公認検定員が講習にあたり、「傾斜地での移動技術」回転技術の習得を目指し、その到達度を評価する。	1種目最大値100ポイント×2種目。130ポイント以上を合格とする。
	小回りターンが連続してできる	中斜面・ナチュラル		
3	大回りターンができる	緩～中斜面	公認検定員が講習にあたり、「傾斜地での移動技術」回転技術の習得を目指し、その到達度を評価する。	60ポイント以上を合格とする。
4	初歩的な大回りができる	緩～中斜面	公認検定員が講習にあたり、「傾斜地での移動技術」回転技術の習得を目指し、その到達度を評価する。	55ポイント以上を合格とする。
5	プルークで大回りができる	緩斜面	公認検定員が講習にあたり、プルークで安全にスピードを調整しながら左右に方向を変える技術の習得を目指し、その到達度を評価する。	50ポイント以上を合格とする。
6	プルークで制動ができる	緩斜面	公認検定員が講習にあたり、プルークで安全にスピードを調整する技術の習得を目指す。	講習終了をもって合格とする。